

10月のてがたんは台風のため中止になりました。次回11月のてがたんは11月9日(土)で「モズのはやにえを探そう」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

* 市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見は10月26日(土)9時30分からです。

10月の下見コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気： 2019年10月6日(日)10:00~12:00 /曇りときどき雨
- 市民スタッフ： 5人(伊東茂子、石原直子、木村稔、弘實さと子、湯瀬一栄)
- 鳥博友の会ボランティア： 2人(北村章子、伴野茂樹)
- 鳥博職員： 1名(村松和行)

観察記録 — 10月下見で観察した生き物リスト—

【鳥類】

カモ科：カルガモ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ、ダイサギ、コサギ/クイナ科：オオバン/
カワセミ科：カワセミ(声)/モズ科：モズ/カラス科：ハシボソガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ヒヨドリ科：
ヒヨドリ/メジロ科：メジロ(声)/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロ
セキレイ/アトリ科：カワラヒワ/外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

【両生類】

アマガエル科：ニホンアマガエル

【クモ】

ワキグロサツマノミダマシ、ハナグモの仲間

【昆虫】

コウチュウ目：ナナホシテントウ/バッタ目：ショウリョウバッタ、コバネイナゴ、タンボコオロギ(声)/チョウ目：
イチモンジセセリ、ヒロヘリアオイラガ(幼虫)、ジャコウアゲハ(さなぎ)、モモトスカシバ/カメムシ目：ツマグロ
ヨコバイ

【植物(実)】

モクレン科：コブシ/ツバキ科：ツバキ/バラ科：トキワサンザシ/ミズキ科：ヤマボウシ、アメリカヤマボウシ/
モチノキ科：クロガネモチ/ヤマゴボウ科：ヨウシュヤマゴボウ/ナス科：イヌホオズキ/クスノキ科：クスノキ、
シロダモ/モクセイ科：トウネズミモチ/アサ科：ムクノキ/キク科：オオオナモミ/タデ科：イシミカワ/ブドウ科：
ナツツタ/イネ科：チヂミザサ

【植物(花)】

キク科：ノボロギク、ノゲシ、セイヨウタンポポ、ハキダメギク、コセンダングサ、アメリカセンダングサ、ブタナ、
カントウヨメナ、セイタカアワダチソウ、タカサブロウ/シソ科：ホトケノザ/タデ科：ポントクタデ、ヤナギタデ、
ミゾソバ、イヌタデ/アカバナ科：ユウゲショウ、チョウジタデ、ヒレタゴボウ/キツネノマゴ科：キツネノマゴ/カヤ
ツリグサ科：ジョウロウスゲ、ウシクグ/クマツヅラ科：ポタンクサギ/ミソハギ科：サルスベリ

10月の観察アルバム



今回のテーマは「樹木と鳥の持ちつ持たれつ」でした。当日は台風の影響で中止となりました。下見では植物の種子散布に注目して、木の実や草の実を観察しましたが、まだ熟していない青い実がほとんどでした。

鳥は冬鳥として飛来するカモは観察できませんでした。遊歩道ではモズが高鳴きする姿が頻繁に見られました。



今月の案内人 伊東茂子さん



鳥のフンから発芽したと思われるエノキ



果実食の鳥に人気がある熟すと甘いムクノキの実



熟すと黒紫色になるクスノキの実



遊歩道のツツジで見つけたイチモンジセセリ



生垣や街路樹によく利用されるトウネズミモチ(実)



ポントクタデの花

ヤナギタデに似ています。ヤナギタデは辛味がある葉が刺身のつまなどに使われますが、ポントクタデの葉には辛味がありません。



10月てがたんの下見ルート



オオオナモミの実

カギ状の果実で動物にくっつく代表的なくっつき虫です。他にもセンダングサの仲間やイノコヅチの仲間もカギ状の突起があります。



茎にトゲがあるイシミカワの実



タデの名前がついているがアカバナ科のチョウジタデ



エノキの枝に巻きついたナツツタの実



赤く色づいた実が目立ちはじめたシロダモ



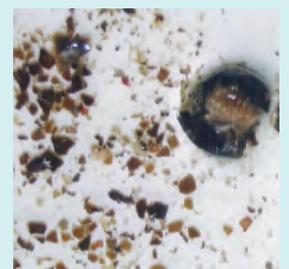
粘液で動物にくっつく子チミザサ

今月の鳥 キジバト ハト目ハト科

キジバトは我孫子では1年を通して見られる留鳥で、主に種子や果実を食べます。植物は鳥に果実を食べてもらい、消化されなかった種子がフンと一緒に排出されることで、種子を遠くまで運んでもらいます。餌を提供する代わりに種子散布してもらつ、持ちつ持たれつの関係です。しかし、キジバトの場合は筋胃が発達しているので、種子まですり潰されてしまいます。植物が一方向的に餌を提供している関係です。



キジバト



キジバトの胃から見つかった砕けた植物の種子